

令和7年3月4日
原子力安全対策課
(06—60)
<15時資料配付>

新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置計画変更認可について

本日、県は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構から、ふげんの廃止措置計画変更認可について、添付資料のとおり連絡を受けた。

<添付資料> ふげんの廃止措置計画変更認可の概要について
(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)

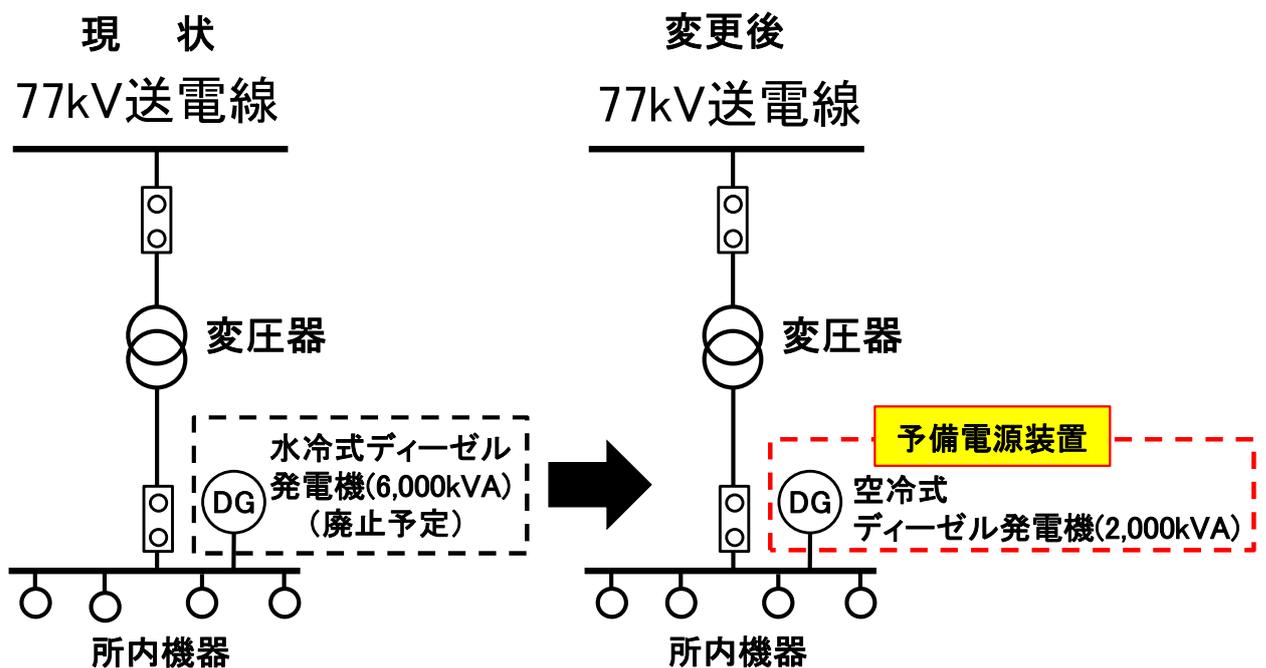
問い合わせ先 (担当:有房)
内線 2353・直通 0776(20)0314

「ふげん」の廃止措置計画変更認可の概要について

新型転換炉原型炉ふげんは、2024年10月3日に廃止措置計画変更認可申請を行い（2025年2月6日一部補正）、2025年2月28日付けで予備電源装置の設置について認可を受け、2025年3月4日に認可証を受領した。

予備電源装置の設置

- ・廃止措置計画では、既設の非常用ディーゼル発電機を廃止措置段階に応じた規模の予備電源装置に取り替えることとしている。
- ・今回、予備電源装置として空冷式ディーゼル発電機を設置すること、およびその具体的な仕様、必要電力量の評価等を追加する。



予備電源が必要な所内機器
 ・放射線監視設備
 ・換気設備
 ・非常用照明設備 等 } 現在の必要電力量: 最大約1,250kW
 (廃止措置の進捗に伴い、今後さらに減少)

予備電源装置(DG)の主な仕様

容量：2,000kVA
 (定格1,600kW)

冷却方式：空冷

寸法等

幅：約 3m

長さ：約10m

高さ：約 5m



図 予備電源装置 イメージ